

令和6年度 後期 学校経営構想

【生徒の実態】

- 落ち着いて安定した生活ができる。
- 「自学自治自愛」を大切にしようという思いがある。
- ボランティアへの参加が多い。
- 活動に前向きに取り組める。
- ▲他者と違うことをするのを避ける意識がある。
- ▲集団に流され、自分の考えを表出することに苦手意識をもつ者がいる。
- ▲形や見た目を気にして、本質を理解できていない者がいる。
- ▲自信が持てない、自己有用感が低い。

【岐阜市教育委員会の方針】(教育大綱)

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。

【保護者・地域社会の願い】

- ・学力の向上と豊かな人間性の育成
- ・安全安心な地域生活と地域行事への参加

- 【学校課題】
- 主体性の育成を柱とした教育の推進
 - 誰一人置き去りにしない教育の追求
 - 粘り強く自己の成長を志向する生徒の育成

(令和6年9月24日調査から)

- ・今の自分にだいたい満足していますか？
そう思う 21% だいたいそう思う 44%
- ・自分は誰かの役に立っていると思いますか？
そう思う 23% だいたいそう思う 52%

学校の教育目標

自ら学び、自ら治め、自ら愛することのできる生徒を育成する

自治

自学

自愛

○つながりのある学級づくり

→「居場所づくり」から「絆づくり」へ
・一人一人の活躍が認められる温かな「学級集団づくり」の推進を図り、個性的に輝く生徒を育成する。

・学習を含む諸活動に、主体的に取り組む中で多様な人との関わりを通し、集団や自己の課題を見出し、解決のために話し合い、活動を進めて課題解決に向かう生徒を育成する。

学級づくり
生徒会活動
部活動

○自立(律)した学習者の育成

・各教科で身に付けた知識・技能、見方・考え方を活用しながら、自分自身で学習目標を設定し、計画を立て、実行して、自らの学びを評価することができる生徒を育成する。

・自分の強みを生かして、社会のために動く「志」をもった生徒を育成する。

○「なりたい自分」に向けた「学び」

学習指導
総合的な学習(加中MIRAI's)
進路指導・情報教育

○自他を大切にできる生徒の育成

・生涯を通じて、心身ともに健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。

・予測困難な社会を生き抜くための「非認知能力(※)」を高めることで、自他の心身の状況に応じて適した行動が取れる生徒を育成する。

※社会情動的スキル(OECD)

- ・目標の達成: 忍耐力、自己抑制、目標への情熱
- ・他者との協働: 社交性、敬意、思いやり
- ・情動の制御: 自尊心、楽観性、自信

健康づくり・健康教育
生徒指導・教育相談
道徳教育・人権教育

学習(授業)も、他の活動も、「ねらい」-「見通し」-「ゴール」を生徒と共有する

加中五大大行事

体育祭

仲間と個性を認め合い、この仲間とならこれからもやっていけそうだという思いをもつ。

学習発表会

自分たちが「目指す学習」の発表の場。
授業づくりを通した学級目標の具現をめざす。

野外総合活動

「なりたい自分」に関わる探究課題を追究し、自分の生き方について考える。
日常で大切にしていることを外で生かす。

文化集会

仲間と築いてきた学級文化を合唱で表す。
学年末に向けて、この仲間とさらに高めていこうという意欲をもつ。

卒業式・巣立ちの会

一年間の自分の成長を実感し、次への決意をもつ。
共に高まってきた仲間への感謝の思いをもつ。

「加中教育観」

- 【生徒観】 どの生徒も伸びようとしている
- 【指導観】 受容と毅然(まずは受容から)
- 【心得】 生徒のありのままを受け止める

生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教職員